

二之江中学校 第 2 回学校運営協議会各グループ提案まとめ

全体の共通認識:生徒には「素直さ・人懐っこさ・優しさ・行事への前向きさ」という強みがある一方で、学力、社会性、主体性、自立・自律の面に課題がある。各グループは、強みを生かしながら「自分で考え、判断し、行動できる生徒」を育てる方向で提案していました。

1. 各グループ提案の一覧

グループ	提案テーマ	生徒の強み	主な課題	提案の方向性
A グループ	読書・ICT を通した基礎力と発信力の向上	デジタル機器への親しみ、反応の良さ	勉強への苦手意識、語彙力・漢字力、意見を言う力、記憶の定着	読書習慣を充実させ、ICT も活用しながら、語彙・読解・発信・応答の力を伸ばす。
B グループ	常識を教え、外の世界を見せる	人懐っこい、先生との距離が近い	常識不足、提出物、周囲を見る力、考える力	常識を丁寧に指導し、保護者と連携し、校外経験や良いモデルを通して行動を広げる。
C グループ	素直さを「自分で振り返る力」へ	素直、学校・先生が好き	発言できない、忘れ物、周囲への関心の薄さ、受け身	失敗した時に自己点検し、次の行動を考える振り返りを重視する。
D グループ	自分で考え行動する力の育成	仲間意識、地域力、団結力、明るさ	ルールの定着、人前で話す力、自信、情報判断力、挨拶の受け身さ	主体性・自己判断力を中心に、考える・判断する・行動する力へつなげる。
E グループ	大人化プロジェクト	豊かな表現、伸ばしたい資質が多い	幼さ、視野の狭さ、責任感の弱さ	家庭・学校・地域で役割と責任を持たせ、一人の人として扱うことで成長を促す。
F グループ	学力向上プラン	素直、仲が良い、行事・ボランティアに積極的	勉強方法が分からない、復習不足、学力	復習習慣、勉強方法の指導、生徒会を活用した学習意欲の向上を進める。
G グループ	自力向上プロジェクト	素直、優しい、自分の気持ちを言える	学力、常識、社会性、自主性、美意識	自立と自律を育てるため、ルールの確認、少し高めの課題設定、見守りを行う。

2. グループ別の詳しい内容

A グループ

提案テーマ:読書と ICT の両面から学ぶ力を支える

- 語彙力・読解力・漢字力など、基礎的な言葉の力を課題として整理。
- 読書をより意識的に行わせ、学習の土台を作る。
- ICT や生徒の反応の良さを生かし、応答力・発信力につながる活動を検討する。

B グループ

提案テーマ:常識を丁寧に教え、モデルを広げる

- 人懐っこさを強みとして生かしながら、常識や社会性を育てる。
- 必要に応じて保護者とも連携し、学校・家庭の両面から指導する。
- 部活動や校外活動を通じて外の世界を見せ、良い行動モデルを増やす。

C グループ

提案テーマ:「素直さ」を自律的な学びに変える

- ・ 素直であることは大きな長所だが、言われたことだけをする受け身の姿にもつながっている。
- ・ 提出物や忘れ物、発言の少なさなどを、自分事として振り返る時間を重視する。
- ・ 失敗後に「なぜそうなったか」「次にどうするか」を考えさせる。

D グループ

提案テーマ:「自分で考えて行動する生徒」を育てる

- ・ 仲間意識・地域力・団結力という良さをさらに伸ばす。
- ・ ルールや挨拶、人前で話す力、情報判断力などの課題を、主体性の育成につなげて捉える。
- ・ 最終的には「自分で考える」「自分で判断する」姿を目指す。

E グループ

提案テーマ:大人化プロジェクト

- ・ 幼さや視野の狭さを、役割経験によって少しずつ大人の姿へ近づける。
- ・ 家庭では仕事や役割を持たせ、保護者の苦労や責任を感じる機会を作る。
- ・ 地域でも子ども扱いではなく、一人の人として話し、接することを大切にする。

F グループ

提案テーマ:学力向上プラン

- ・ 学力面、とくに勉強方法や復習習慣の不足を中心課題として整理。
- ・ 学校全体で復習を促す期間や仕組みを設定する案が出された。
- ・ 生徒会活動を活用し、学習に関心を持つ雰囲気づくりを進める。

G グループ

提案テーマ:自力向上プロジェクト

- ・ 自立＝自分で立つ、自律＝自分を律する、の両方を高める。
- ・ 学校のルールやマナーを確認し、生活の土台を整える。
- ・ 少し高めの課題を設定し、失敗も含めて見守りながら成長を促す。

3. 今後の実践に向けた整理

重点領域	ねらい	具体化の例
主体性・自律	言われて動く段階から、自分で考えて動く段階へ	振り返りカード、自己点検、目標設定、少し高めの課題
学力・言葉の力	学びの土台を整え、考えを表現できるようにする	読書、復習週間、勉強方法の指導、語彙・漢字への継続的支援
社会性・常識	学校内外で通用する行動を身につける	ルール・マナーの確認、保護者連携、校外活動、良いモデルの共有